

---

# 信念

Kumito

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

信念

### 【コード】

N2989J

### 【作者名】

Kumitō

### 【あらすじ】

このお話はとある少年にあった出来事です。

僕は人一倍音楽好きな人間です。僕が音楽と出会ったのはあの時でした。

僕は小学5年生まで全くのダメ人間でした。僕はいつもみんなに不潔とかデブとか言われていました。それと6人の集団に囲まれてリンチされたりとか、物を壊されたりとかされていました。そのわりには、心の中は悪の心に満たされていて、いつも悪い考えしか思い浮かびませんでした。僕はその時

「もう学校なんか行きたくねえ。」  
というふうになくなってしまいました。

僕は普通の生活も嫌でした。なんと、学校から帰った後のスケジュールはというと、3時から7時まで塾に行かされ、帰ったら9時から12時頃まで勉強させられていました。

こんな生活の中での一番の楽しみは、深夜12時から1時まで漫画を読む事でした。

あと僕は、とても臆病な子でした。体育の授業でドッチボールをやった時なんかはボールが飛んできたら、怖がって逃げてしまうほどでした。球技をやる時は毎回怖くて震えていました。あと人に何か頼まれると、ヤダとは言えませんでした。これも怖いからです。一回当時高かったスーパーファミコンを貸した時には、親に凄く怒

られました。これも怖いからです。

僕は凄い運動オンチでした。僕が小学5年生の時、50メートル走を

した時は、なんと、小学校2年生が走るよりも遅かったのです。そしてみんなにのろまと言われてバカにされていました。一番嫌だったのは、席替えの時でした。席替えをして僕と一緒にの班になった人は

「ゲっ〇〇と一緒にの班だ、〇〇菌が移っちゃう。」  
と言って僕をいじめました。これがとうとう毎日続きました。

このような生活が毎日続きました。こんなにもとりえのない僕を助けてくれたのは、音楽でした。僕は小学6年生になった時、初めて歌番組を見ました。その時ある歌手が歌っていたある歌が、僕の頭に叩き付けられました。あの歌は僕に勇気を与えてくれました。その後、僕はボールもとれるようになったし、リンチをされたら逆に殴り返して相手を怖がらせる事も出来るようになりました。もちろん運動オンチも治りました。

歌は、僕を全くとりえのない人から勇気のあるがんばりやに変えたのです。これが僕と音楽との出会いです。そして今

は音楽を聞くだけではなく、楽器を弾いたりもしています。曲には、元気になれる曲や、涙が出るような曲などがあります。僕は、いろんな曲を聞いた時に、いろいろな知識が身に付きます。それがいろんな面でも役に立ちます。僕は音楽をやってるたんびにこうい

う事を考えます。

「困っている人達や、苦しんでいる人達を、歌で助けてあげられればなあ、でも僕にそんな才能があるかなあ。」

「という様な事を考えてしまいます。僕が将来どんな人になっているのかはまだ分かりませんが、歌だけは無くせません。」

僕にとって歌は命の次に大事な物です。このお話しを読んでいる人に僕は

「これだけはなくせない。」

という物を作ってほしいと思います。それはいつか絶対に役に立つと思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2989j/>

---

信念

2010年10月31日13時31分発行